

HOME > イベント > セミナー・シンポジウム2017年実績

セミナー・シンポジウム

セミナー・シンポジウム2017年実績

日程／場所	テーマ／講師
1月16日(月) 14:00～17:00	<p>◆CGネット・関西経済連合会共催 関西シンポジウム 『コーポレートガバナンス改革で日本企業は変わったのか？ーガバナンス・コードと向き合う企業の理想と現実』</p> <p>【第1部】基調講演 14:10～15:10 『社外取締役を実質的に機能させるためにービジネスからの視点ー』 牛島 信 (日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク理事長、牛島総合法律事務所 代表弁護士)</p> <p>【第2部】パネルディスカッション 15:20～16:50 『関西企業はガバナンス改革にどのように向き合うべきか』 ◇パネリスト(50音順) 井口 譲二 氏 (ニッセイアセットマネジメント チーフ・コーポレート・ガバナンス・オフィサー) 牛島 信 (日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク理事長、牛島総合法律事務所 代表弁護士) 中田 孝治 氏 (積水ハウス常務執行役員 関経連コーポレートガバナンス研究会主査) 長島 徹 氏 (帝人相談役、花王・イオン社外取締役、ダイキン工業社外監査役、CGネット理事) ◇モデレーター 山口 利昭 氏 (日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク理事、山口利昭法律事務所 代表弁護士)</p>
2月16日(木) 10:00～11:30	<p>◆第120回セミナー 『「顧客本位の業務運営に関する原則(案)」について』 大江 亨 氏 金融庁総務企画局市場課市場企画室長</p>
2月24日(金) 10:00～11:30	<p>◆第121回セミナー 「名経営者との対話」出版記念 『社外取締役を実質的に機能させるためにービジネスからの視点ー』 牛島 信 日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク 理事長 牛島総合法律事務所 代表弁護士、作家</p>
4月6日(木) 10:00～11:40	<p>◆第122回セミナー 『グローバルの文脈での日本のコーポレートガバナンスーレビューおよび展望』 “Japanese Governance and a global context: looking back looking forward” Marianne Harper-Gow 氏 Director, Baillie Gifford Overseas Limited</p>
5月31日(水) 10:00～11:30	<p>◆第124回セミナー 『ダイバーシティ2.0行動ガイドラインについて』 藤澤 秀昭 氏 経済産業省 経済産業政策局 経済社会政策室長</p>
6月5日(月) 10:00～11:30	<p>◆第127回セミナー 『グローバル・ベストプラクティスの採用』 Seth Fischer 氏 オアシス・マネジメント設立者兼最高投資責任者</p>
6月13日(火) 10:00～11:30	<p>◆第125回セミナー 『日本版スチュワードシップ・コードへの対応等に関するアンケートについて ーアセットマネジャーがスチュワードシップ責任を果たすための取組みと今後の課題ー』 岩間 陽一郎 氏 一般社団法人日本投資顧問業協会 会長</p>
6月16日(金) 10:00～11:30	<p>◆第126回セミナー 『コーポレート・ガバナンス・システムに関する実務指針』 安永 崇伸 氏 経済産業省 経済産業政策局 産業組織課 課長</p>
6月22日(木)	<p>◆第123回セミナー 『証券取引等監視委員会 中期活動方針(第9期)～四半世紀の活動を踏まえた新たなステージへ～』</p>

10:00～11:30	佐々木 清隆 氏 証券取引等監視委員会事務局長 兼 金融庁総務企画局IFIAR常設事務局設立準備本部長
7月14日(金) 10:00～11:30	◆第128回セミナー 『平成28年 スチュワードシップ活動報告』 小森 博司 氏 GPIF 市場運用部次長兼スチュワードシップ推進課長
8月3日(木) 10:00～11:30	◆第129回セミナー 『スチュワードシップ・コードの改訂について』 田原 泰雅 氏 金融庁総務企画局企業開示課長
9月26日(火) 10:00～11:30	◆第130回セミナー 『2017年6月株主総会の総括と来年の展望について』 齋藤 誠 氏 三井住友信託銀行 証券代行コンサルティング部担当部長 全国株懇連合会理事 東京株式懇話会常任幹事
11月24日(金) 10:00～11:30	◆第131回セミナー 『伊藤レポート2.0と価値協創ガイダンス』 福本 拓也 氏 経済産業省 経済産業政策局 産業資金課長 兼 新規産業室長

○ シンポジウム

[→イベントトップ](#)

『コーポレートガバナンス改革で日本企業は変わったのか？ーガバナンス・コードと向き合う企業の理想と現実』

アベノミクスにおける成長戦略の一環として「攻めのガバナンス」を標榜するコーポレートガバナンス改革は2年目を迎え、政府の未来投資会議においても主要な議題とされています。同改革により、指名委員会を設置して後継者選任プロセスを透明化する企業、中長期業績連動型の報酬体系を導入する企業、そして社外取締役を複数選任する企業は急増しました。しかし企業のガバナンスは実質的に変わったのでしょうか、それとも形式だけ整えているにすぎないのでしょうか。上場会社を中心に、2015年6月に適用が開始されたコーポレートガバナンス・コードへの企業対応が進む中、果たして「攻めのガバナンス」による改革は、中長期的な企業価値向上、持続的な成長を日本企業にもたらすのでしょうか。

本シンポジウムでは、基調講演および企業経営経験者、市場関係者の方々による意見交換を通じて、関西企業がガバナンス改革にどのように臨むべきか、また社外取締役はどのように企業と向き合うべきなのか、その方向性を模索します。

【共催】	特定非営利活動法人(NPO法人) 日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク(CGネット) 公益社団法人 関西経済連合会
【日時】	2017年1月16日(月) 14:00~17:00
【場所】	大阪弁護士会館2階ホール(大阪市北区西天満1-12-5) → 地図 (なにわ橋駅 出口1から徒歩5分)

■ スケジュール

【第1部】 14:10~15:10	<p>■ 基調講演</p> <p>『社外取締役を実質的に機能させるためにービジネスからの視点ー』</p> <p>牛島 信 (日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク 理事長、牛島総合法律事務所 代表弁護士)</p>
【第2部】 15:20~16:50	<p>■ パネルディスカッション</p> <p>『関西企業はガバナンス改革にどのように向き合うべきか』</p> <p>◇パネリスト(50音順)</p> <p>井口 譲二 氏(ニッセイアセットマネジメント チーフ・コーポレート・ガバナンス・オフィサー)</p> <p>牛島 信 (日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク 理事長、牛島総合法律事務所 代表弁護士)</p> <p>中田 孝治 氏(積水ハウス常務執行役員 関経連コーポレートガバナンス研究会主査)</p> <p>長島 徹 氏(帝人相談役、花王・イオン社外取締役、ダイキン工業社外監査役、日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク 理事)</p> <p>◇コーディネーター</p> <p>山口 利昭 氏(日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク 理事、山口利昭法律事務所 代表弁護士)</p>

[HOME](#) > [イベント](#) > [セミナー・シンポジウム](#) > 第120回「顧客本位の業務運営に関する原則(案)について」

○ セミナー

[→イベントトップ](#)

第120回セミナー 『顧客本位の業務運営に関する原則(案)』について

【日時】	2017年2月16日(木) 10:00～11:30
【場所】	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
【出演者】	大江 亨 氏(金融庁総務企画局市場課市場企画室長)

■ セミナーの趣旨

国民の安定的な資産形成を図るためには、全ての金融機関等が、インベストメント・チェーンにおけるそれぞれの役割を認識し、顧客本位の業務運営に努めることが重要である。

金融審議会市場ワーキング・グループでは、こうした観点からの審議が行われ、平成28年12月22日に公表された報告書「国民の安定的な資産形成に向けた取組みと市場・取引所を巡る制度整備について」において、「顧客本位の業務運営に関する原則」を策定し、金融機関に受け入れを呼びかけ、金融機関に「原則」を踏まえた顧客本位の業務運営を求めていくことが適当とされ、「原則」に盛り込むべき7つの事項についても提言されている。本セミナーでは、こうした顧客本位の業務運営に関する議論の経緯や背景とともに、「原則(案)」の内容や目的について解説する。(講師より)

◇金融庁リリース:顧客本位の業務運営に関する原則(案)

<http://www.fsa.go.jp/news/28/sonota/20170119-1.html>

■ 出演者紹介(敬称略)

◎大江 亨(おおえ・とおる)
金融庁総務企画局市場課市場企画室長

1997年 大蔵省入省
2003年 金融庁監督局証券課課長補佐
2004年 金融庁大臣政務官秘書官
2006年 在オーストリア日本大使館一等書記官
2009年 財務省主計局主計官補佐
2012年 財務省国際局課長補佐
2014年 金融庁総務企画局政策課政策管理官兼広報室長
2015年 現職

○ セミナー

[→イベントトップ](#)

第121回セミナー「名経営者との対話」出版記念 『社外取締役を実質的に機能させるためにービジネスからの視点ー』

【日時】	2017年2月24日(金) 10:00～11:30
【場所】	WTCコンファレンスセンター Room A(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル3F)
【出演者】	牛島 信 (日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク 理事長、牛島総合法律事務所 代表弁護士、作家)

■ セミナーの趣旨


[第121回セミナー「名経営者との対話」出版記念『社外取締役を実質的に機能させるためにービジネスからの視点ー』講演骨子](#)

【内容紹介】

18人の経営者との対話によって、日本にふさわしいコーポレートガバナンスとは何か、さらには資本主義とは何かについて明らかにした一冊です。対談の相手は、弁護士の牛島信氏。数多くのコーポレートガバナンスの案件を手掛けてきた企業法務の専門家です。対談の中で言及される、コーポレートガバナンスに関する専門知識については、該当箇所にキーワード解説を付記しました。また、キーワードは後半の「理論篇」ともリンクしているので、対談の内容を、理論で補完しながら読み進められる構成となっています。(書籍内容紹介より)

【目次】

【第一部】 対談篇

坂根正弘氏 コマツ相談役
伊東信一郎氏 ANAホールディングス会長
鈴木茂晴氏 大和証券グループ本社会長
長島 徹氏 帝人相談役
佐藤茂雄氏 大阪商工会議所会頭、京阪電気鉄道最高顧問
斉藤 惇氏 KKRジャパン会長
岩田喜美枝氏 公益財団法人21世紀職業財団会長
松本 晃氏 カルビー会長兼CEO
樋口武男氏 大和ハウス工業会長・CEO
但木敬一氏 弁護士、元検事総長
富山和彦氏 経営共創基盤(IGPI) CEO
松井忠三氏 松井オフィス代表、良品計画名誉顧問
森口隆宏氏 JPモルガン証券シニアアドバイザー
ビル・トッテン氏 アシスト会長
丹羽宇一郎氏 伊藤忠商事元社長
宮内義彦氏 オリックス シニア・チェアマン
金成憲道氏 ドイツ証券会長
岩沙弘道氏 三井不動産会長

【第二部】 理論篇

- ・企業の内部留保をどうはき出させるか
- ・社外取締役の時代が到来した
- ・コーポレートガバナンス・コードとは何か
- ・日本企業の経営者は米国並みの高額報酬に？
- ・激変する「株式持ち合い」「内部昇進者中心の取締役会」
- ・内部通報制度はカイゼン活動
- ・トヨタの種類株式と「重要なパートナー」の確保
- ・ROEとコーポレートガバナンス
- ・取締役会の機能を向上させる具体的な方策
- ・「お手盛り」ではないインセンティブ報酬の在り方

◇詳細は出版社のホームページ参照

<http://www.nikkeibp.co.jp/atc/pubmkt/book/17/257760/>

■ 出演者紹介(敬称略)

◎牛島 信(うじま・しん)
日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク 理事長
牛島総合法律事務所 代表弁護士、作家

1949年生まれ。東京大学法学部卒業。検事を経て弁護士に。1985年牛島総合法律事務所開設。現在、同事務所代表弁護士（弁護士55名・外国弁護士（日本無資格）2名が所属）。

日本生命保険相互会社社外取締役、松竹株式会社社外監査役、株式会社朝日工業社社外監査役、北越紀州製紙株式会社社外取締役、社団法人日本女子プロゴルフ協会監事、一般社団法人不動産証券化協会監事等も務める。

〔著述〕

最新刊に『名経営者との対話 コーポレートガバナンスの実践と理論』。

法律論文に『コーポレートガバナンスの行方—会社からの視点』など数十篇。

小説に『株主総会』、『あの男の正体（ハラワタ）』など9作、エッセイ集に『現代の正体』など7作。現在、各分野で連載継続中。



特定非営利活動法人

日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク

HOME

イベント

ニュース

独立社外取締役導入支援

刊行物

入会案内

CG ネットについて

[HOME](#) > [イベント](#) > [セミナー・シンポジウム](#) > [第122回「グローバルの文脈での日本のコーポレートガバナンス—レビューおよび展望」](#)

○ セミナー

[→イベントトップ](#)

第122回セミナー

「グローバルの文脈での日本のコーポレートガバナンス—レビューおよび展望」
"Japanese Governance and a global context; looking back looking forward"

※本セミナーは英語で行われますが、逐次通訳が入ります。

【日時】	2017年4月6日(木) 10:00~11:40
【場所】	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
【出演者】	Ms Marianne Harper-Gow (Director, Baillie Gifford Overseas Limited) 小宮 健一氏 (Client Service Director, Baillie Gifford Overseas Limited)

■ セミナーの趣旨

日本企業のガバナンスを巡っては過去2年間で多くの変化があったと認識しています。日本ほど焦点を絞り、重要性を帯びて、コーポレートガバナンスおよびステークホルダーシップに関する進展があった国は他に例を見ません。

今回のセミナーを通じてイギリスの運用機関として自分たちの見解を紹介させていただく中で、諸外国との比較や日本のコーポレートガバナンスの更なる発展に向けての提言に触れていきたいと思えます。諸外国に関してはイギリス、アメリカ、アジア、欧州大陸でガバナンス改革が進みつつあります。

提言としては、細かい点に過度に注目するよりも、そもそもの改革の意義を振り返り、日本企業(含:企業へのアドバイザーの皆様)や運用会社にとって、次の発展段階について鳥瞰したいと考えています。(講師より)

⇒ [ベイリーギフォード情報\(日本語のファクトシートあり\)](#) はこちら

■ 出演者紹介

◎Marianne Harper-Gow
Director, Baillie Gifford Overseas Limited

1996年アバディーン大学でBSc(Hons)を取得、専攻は環境科学。
環境及び地質調査に関わる企業に勤務。その後2002年エジンバラ大でMBAを取得。
2004年3月ベイリーギフォード入社。現在コーポレート・ガバナンス部門ダイレクター。

◎小宮 健一(こみや・けんいち)
Client Service Director, Baillie Gifford Overseas Limited

1985年早稲田大学卒、同年東洋信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)へ入社。
UFJ信託銀行の証券運用部次長等を経験した後、2011年6月退社。
同年9月ベイリーギフォード入社。クライアントサービス部門ディレクター。
日本証券アナリスト協会検定会員。

○ セミナー

[→イベントトップ](#)

第124回セミナー 「ダイバーシティ2.0行動ガイドラインについて」

【日時】	2017年5月31日(水) 10:00～11:30
【場所】	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
【出演者】	藤澤 秀昭 氏(経済産業省 経済産業政策局 経済社会政策室長)

■ セミナーの趣旨

多様な人材を活用するダイバーシティ経営の実践は、コーポレート・ガバナンス機能の向上に資するものであり、中長期的な企業価値を実現するものとして注目が高まっている。

経済産業省では、昨年8月より、中長期的に企業価値を生み出し続けるダイバーシティ経営を「ダイバーシティ2.0」と位置づけ、今年3月、その実現のために必要なアクションをまとめた「ダイバーシティ2.0行動ガイドライン」を公表した。

ガイドラインでは、ダイバーシティ経営に全社的に取り組むため、ガバナンスを含めた体制の構築や資本市場への積極的な開示の必要性を強調している。

本講演会では、ダイバーシティ2.0行動ガイドラインに基づき、企業価値とダイバーシティの関係、ダイバーシティ経営の実践方法等を紹介する。(講師より)

■ 出演者紹介

◎藤澤 秀昭(ふじさわ・ひであき)

経済産業省 経済産業政策局 経済社会政策室長

東京大学経済学部卒業後、1996年に経済産業省入省。これまで主に携わった政策分野は、通商・中東政策(在イラン大使館勤務、新興国戦略)、環境政策(地球温暖化、エネルギー政策など)、マクロ経済政策(成長戦略、ダイバーシティ経営など)。2015年10月から現職。

○ セミナー

[→イベントトップ](#)

第127回セミナー 「グローバル・ベストプラクティスの採用」 ※本セミナーは英語で行われますが、逐次通訳が入ります。

【日時】	2017年6月5日(月) 10:00～11:30
【場所】	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
【出演者】	Mr. Seth Fischer (オアシス・マネジメント設立者兼最高投資責任者)

■ セミナーの趣旨

親会社の経営効率化などで、上場子会社の吸収を目指す動きが広がる中、子会社の企業価値が低く見積られる問題があります。この件に関してご説明をさせていただき、グローバル・スタンダードと日本のスタンダードを比べ、ベストプラクティスは何か、皆様にお伺いし、共有したいと考えております。(講師より)

■ 出演者紹介

◎Seth Fischer(セス フィッシャー)
オアシス・マネジメント設立者兼最高投資責任者

オアシス・マネジメントの設立者兼最高投資責任者。
オアシスは2002年にセス・フィッシャーにより設立され、香港に本社を置くグローバルな資産運用会社。セス・フィッシャーは、Highbridge Capital Managementで7年間アジア投資ポートフォリオのマネージャーとして成功を収めた後オアシスを設立し、アジア地域に置いて優れた投資・運用経験を持つ30名以上のプロフェッショナルから成るチームを率いている。熟練した投資チームは、各国及び各産業の幅広いアセットクラスで長期及び短期の機会を捉え、分析し、投資を行っている。

1995年1月にHighbridgeに入社する以前は、イスラエル国防軍に所属。1993年にニューヨーク州のイエシバ大学を卒業し、政治学の学士号を取得しています。カレン・リヨン基金の理事、香港のCarmel Schoolの理事、及び香港のOhel Leah Synagogue Management Committeeの副会長を務めている。

。

[HOME](#) > [イベント](#) > セミナー・シンポジウム > 第125回「日本版ステュワードシップ・コードへの対応等に関するアンケートについて～アセットマネジャーがステュワードシップ責任を果たすための取組みと今後の課題～」

[→イベントトップ](#)

○ セミナー

第125回セミナー 「日本版ステュワードシップ・コードへの対応等に関するアンケートについて ～アセットマネジャーがステュワードシップ責任を果たすための取組みと今後の課題～」

【日時】	2017年6月13日(火) 10:00～11:30
【場所】	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
【出演者】	岩間 陽一郎 氏(一般社団法人日本投資顧問業協会 会長)

■ セミナーの趣旨

中長期的な企業価値向上を促すことを目的とした「日本版ステュワードシップ・コード」と「コーポレートガバナンス・コード」が相次いで策定・公表され、ステークホルダーの一翼を担う資産運用業界の役割に対する期待は今まで以上に高まっている。当講演では、これまでの一連の取組みを概観した上で、平成26年より実施している当協会の「日本版ステュワードシップ・コードへの対応等に関するアンケート」結果を用いて、当協会会員の日本版ステュワードシップ・コードへの取組み状況について説明する。加えて、日本よりいち早く両コードを導入した英国の状況についても確認すると共に、2014年に公表されてから3年が経ち、昨今公表された「日本版ステュワードシップ・コード」の改定案についても概要を説明する。(講師より)

■ 出演者紹介

◎岩間 陽一郎(いわま・よういちろう)
一般社団法人日本投資顧問業協会 会長

1967年東京大学法学部卒業、同年4月、東京海上火災保険(株)(現東京海上日動火災保険(株))入社、取締役投資部長、常務取締役財務本部長、専務取締役、東京海上アセットマネジメント投信(株)(現東京海上アセットマネジメント(株))代表取締役社長を経て、2010年より現職。金融・資本市場活性化有識者会合、ステュワードシップ・コードおよびコーポレートガバナンス・コードのフォローアップ会議、資産運用等に関するワーキング・グループ各委員等。

○ セミナー

[→イベントトップ](#)第126回セミナー
「コーポレート・ガバナンス・システムに関する実務指針」

【日時】	2017年6月16日(金) 10:00～11:30
【場所】	大手町サンケイプラザ 3階 301+302(千代田区大手町1-7-2)
【出演者】	安永 崇伸 氏(経済産業省 経済産業政策局 産業組織課 課長)

■ セミナーの趣旨

平成29年3月31日に経済産業省が策定・公表した「コーポレート・ガバナンス・システムに関する実務指針」(CGSガイドライン)は、コーポレートガバナンス・コードを補完するとともに、企業が「稼ぐ力」を強化するために有意義と考えられる具体的な行動を取りまとめたものである。本ガイドラインは、各企業の置かれた状況が多様であることを踏まえ、その状況に応じて様々な活用をしていただくことを想定したものであり、企業の経営陣はもちろん、社外取締役、実務担当者、投資家等、コーポレートガバナンスに携わるあらゆる方々に参考にさせていただきたいと考えている。本講演を通じて、CGSガイドラインの内容やその背景にある考え方への理解を深めていただくことで、各企業において取り組まれているガバナンス改革の一助となれば幸いである。(講師より)

■ 出演者紹介

◎安永 崇伸(やすなが・たかのぶ)

経済産業省 経済産業政策局 産業組織課 課長

1994年、慶應義塾大学総合政策学部卒業後、通商産業省入省。
資源エネルギー庁勤務などを経て、2016年7月から現職。

※講演者は公務等で変更の可能性があります。

○ セミナー

第123回セミナー 「証券取引等監視委員会 中期活動方針(第9期)～四半世紀の活動を踏まえた新たなステージへ～」

【日時】	2017年6月22日(木) 10:00～11:30
【場所】	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
【出演者】	佐々木 清隆 氏(証券取引等監視委員会事務局長 兼 金融庁総務企画局IFIAR常設事務局設立準備本部長)

■ セミナーの趣旨

証券取引等監視委員会は、昨年12月に新委員長・委員が就任し、第9期がスタートしたところですが、新体制のもと、本年1月20日に「証券取引等監視委員会 中期活動方針(第9期)」を公表しました。

また、本年は、証券監視委設立25周年の節目にあたることもあり、本セミナーでは、証券取引等監視委員会事務局長の佐々木清隆氏から、四半世紀の活動を踏まえ新たなステージへ向けた証券監視委の今後の取組みについてご説明いただきます。

■ 出演者紹介(敬称略)

◎佐々木 清隆(ささき・きよたか)

証券取引等監視委員会事務局長 兼 金融庁総務企画局IFIAR常設事務局設立準備本部長

1983年 大蔵省入省

1993年 OECD(経済協力開発機構)

2002年 IMF(国際通貨基金)

2005年 証券取引等監視委員会事務局特別調査課長

2010年 金融庁検査局総務課長

2011年 金融庁総務企画局審議官(検査局担当)兼公認会計士・監査審査会事務局長

2015年 証券取引等監視委員会事務局長

2016年 現職

○ セミナー

[→イベントトップ](#)第128回セミナー
「平成28年 スチュワードシップ活動報告」

【日時】	2017年7月14日(金) 10:00～11:30
【場所】	WTCコンファレンスセンター Room A(浜松町2丁目4番1号 世界貿易センタービル3階)
【出演者】	小森 博司 氏 (GPIF 市場運用部次長兼スチュワードシップ推進課長)

■ セミナーの趣旨

年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)は、2014年5月に日本版スチュワードシップ・コード、2015年9月に国連責任投資原則(PRI)に署名しました。直近では、6月2日(金)に「スチュワードシップ活動原則」および「議決権行使原則」を公表しましたが、法令に基づく制約の中で現在に至るまでの取組みをベースにGPIFのスチュワードシップ責任とESGについての考え方を説明いたします。(講師より)

■ 出演者紹介(敬称略)

◎小森 博司(こもり・ひろし)

GPIF 市場運用部次長兼スチュワードシップ推進課長

1979年 4月 株式会社埼玉銀行(現りそなホールディングス)入行
1986年 3月 国際大学大学院修士課程修了(国際関係学専攻)
1990年12月 住友信託銀行株式会社(現三井住友信託銀行)入社
2015年12月 GPIF採用

住友信託銀行証券代行部門において、証券代行機関として初のIRグループを立上げ、国内初の海外機関投資家および国内機関投資家向け議案・IR情報発信サイトを運営。また、証券代行受託会社向けサービスとして、国内・海外主要機関投資家関連コーポレート・ガバナンス、議決権行使動向の情報提供、国内および海外実質株主判明調査、ESG(環境、社会、コーポレート・ガバナンス)に関する国内および海外機関投資家の動向に関する情報提供等に従事。

全米機関投資家協議会(CII)および国際コーポレートガバナンス・ネットワーク(ICGN)の日本関連窓口を担当。金融庁「我が国金融・資本市場の国際化に関するスタディグループ」参考人(2009年5月)、同「企業財務研究会」講演(2011年7月)、東京証券取引所・経団連共催「企業経営層を対象とした研修プログラムシリーズ」講演(2012年～2014年)、Global Reporting Initiative(GRI)およびJapan Society of Northern California等講演。

[HOME](#) > [イベント](#) > [セミナー・シンポジウム](#) > 第129回「スチュワードシップ・コードの改訂について」

○ セミナー

[→イベントトップ](#)第129回セミナー
「スチュワードシップ・コードの改訂について」

【日時】	2017年8月3日(木) 10:00~11:30
【場所】	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12階)
【出演者】	田原 泰雅 氏(金融庁総務企画局企業開示課長)

■ 出演者紹介(敬称略)

◎田原 泰雅(たはら・やすまさ)
金融庁総務企画局企業開示課長

東京大学法学部卒。1990年大蔵省入省。スタンフォード大学経営学修士。
2012年9月金融庁総務企画局総務課国際室長、2014年7月市場課長、2015年7月企業開示課長。スチュワードシップ・コードやコーポレートガバナンス・コード、企業開示制度、会計制度、監査制度等を担当。

○ セミナー

[→イベントトップ](#)第130回セミナー
「2017年6月株主総会の総括と来年の展望について」

【日時】	2017年9月26日(火) 10:00～11:30
【場所】	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12階)
【出演者】	齋藤 誠 氏(三井住友信託銀行 証券代行コンサルティング部担当部長 全国株懇連合会理事 東京株式懇話会常任幹事)

■ セミナーの趣旨

2017年6月に開催された上場会社の株主総会では、集中日の集中率が初めて3割を切り分散化傾向が一層進んだほか、中期経営計画を株主総会で説明する事例なども見受けられ、引き続きコーポレート・ガバナンス向上を意識した取組みが進展しました。また、株主提案権の議案数等が過去最高を更新し、機関投資家の議決権行使状況も注目されるなど、株主との対話に関しても注目が集まりました。本セミナーでは、三井住友信託銀行証券代行コンサルティング部から、本年6月総会の内容を分析、統括いただくとともに、来年の展望を解説いただきます。

■ 出演者紹介(敬称略)

◎齋藤 誠(さいとう・まこと)

三井住友信託銀行 証券代行コンサルティング部担当部長
全国株懇連合会理事 東京株式懇話会常任幹事1986年 東京都立大学(現首都大学東京)法学部卒業
2003年 早稲田大学大学院法学研究科修士課程修了
2004年から2012年まで 国学院大学法学部非常勤講師
信託銀行にて長年にわたり証券代行業務に従事

○ セミナー

[→イベントトップ](#)

第131回セミナー 「伊藤レポート2.0と価値協創ガイダンス」

【日時】	2017年11月24日(金) 10:00～11:30
【場所】	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12階)
【出演者】	福本 拓也 氏(経済産業省 経済産業政策局 産業資金課長 兼 新規産業室長)

■ セミナーの趣旨

経済産業省は、企業が中長期的に企業価値を高めるための戦略的投資のあり方や投資家による企業評価手法、さらに企業の情報開示や投資家との対話のあり方を探るため、企業の代表や投資家、学識経験者や金融関係者を集めて2016年8月に「持続的成長に向けた長期投資(ESG・無形資産投資)研究会」を設置し、議論を進めてきました。そして、本年5月、この研究会からの提案を基に「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」を取りまとめました。本講演では、当該ガイダンスの内容を中心に解説いたします。(講師より)

■ 出演者紹介(敬称略)

◎福本 拓也(ふくもと・たくや)
経済産業省 経済産業政策局 産業資金課長 兼 新規産業室長

1996年通商産業省に入省。在欧日系ビジネス協議会事務局長等を経て、2012年7月に企業会計室長に着任し、企業の会計、情報開示、社会的責任を所管。「持続的成長への競争力とインセンティブ～企業と投資家の望ましい関係構築～」プロジェクト(伊藤レポート)、の取り纏めなどを担当。2015年7月より現職。